



だっこするよ

2023年1月

社会福祉法人茂原高師保育園

北区立赤羽台保育園

園長 奥戸 昌子

人間を大切に作る園、社会を創ろう

初春のお慶びを申し上げます。晴天に恵まれたお正月、ご家族皆様と和やかに迎えられたことと存じます。2023年のスタートです。万物のエネルギーを全て吸収しながら成長を続けている子どもたちに負けないよう、今年も全職員が力を合わせて、子どもの主体性を大切に、豊かな体験を積み上げていきます。

幼児組おおきくなったねの会は、会場の皆で楽しもうとご協力いただき有り難うございました。行事は、主役となる子どもたち、そしてサポートする担任や職員、そして保護者の皆さんとみんなで創るものだと実感しました。子どもたち自身が、そのねらいを考え、話し合い、どんな自分を表現したいのか、みんなではどうしたい？と問いかけつつ、時にはやりたくないときもありますが、葛藤を越えながら、全ての時間が、心の成長へ「節」を育てたのではと思います。年齢にあった楽しい会になりました。子どもたちは、今も発表会ごっこをして、異年齢で真似っこしたりして楽しんでます。小さな友だちから憧れの眼差しを向けられた幼児組さんは、とても誇らしそうでした。

去年は、保育士の虐待報道がされる度に、辛い気持ちになりました。虐待は、絶対許されないことです。また、世界中を巻き込み、いつまでも収束しないウクライナへの侵略戦争、核兵器の保持や軍事力が平和への道なのでしょうか。今こそ、人間を大切に作る園でありたいと強く思いました。平和な社会があつてこそ、子どもたちは安心して希望を持ち、この社会に根を下ろせます。私たちは、子どもの権利条約を遵守して、子どもの声を聴き、問いかけ、向き合って対話を大切にしていきたいと思ひます。「人間にはいろんな人がいること、違いこそが強みであり、これから創造していく未来をより面白くしてくれるよ。」と伝えたいです。

そして、保育士になって学んだこと「子どもは、一人ひとり意思を持った見事な人間だ」ということです。大人が人格を尊重して接すると必ず応えてくれます。まだ言葉を持たないひよこ組でも目や表情で返してくれます。大人が忙しくて雑にしていると子どもも同じように雑になり、つまりは、大人の姿勢、心持ち一つで子どもは変わります。大人は、自分を振り返ることと、一人ではなくいろいろな人達とつながり、協力することが大事ですね。理解や共感が生まれる社会、それこそ子どもたちに手渡したい社会です。保育士による虐待を防ぐのも平和な世界を築くのも、声に出して、気付いたことを語り合うことからだと感じます。気付いたこと、子育てのこと、声を聴かせてくださいね。それは、毎日の保育の健全さへとつながります。ストップ！虐待！戦争！です。私は、大人同士が信頼でつながる園を創りたいです。それは、子どもたちの安心に繋がります。新年の約束、人間を大事にする園や社会を創りましょう。写真は、ひよこ組さんお楽しみ会です



写真は火起こしからの私たちのSDGs「4・5歳児 焼き芋パーティー2022」です。



謹賀新年

あけましておめでとうございます
ことしは うさぎとしです
うさぎのように よくはねてげん
きいっばいにすこしまし
ほいくえんがはじまつたら、
どんなおしやうがつだったか
おしえてね。

令和五年元旦
おくと

しょうこ